

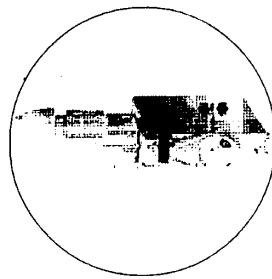
ガスふろがま (取替型)

取扱説明書

保証書付

品名	機器コード	型式名
TP-705CFSA	11-033-20-07542 11-033-20-07709	GF-A550SC

このたびはガスふろがまをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。
この機器は取替専用型ですので、新設等の浴室には設置することはできません。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



TOKYO GAS

ページ	お使いいただく前に	使いかた	長くお使いいただくために
1	安全に正しくお使いいただくために	7	13
1	この取扱説明書の表示について	7	13
1	給表示について	8	13
1	機器本体の表示について	8	14
2	必ずお守りください	9	15
6	各部の名称とはたらき	9	15
6	機器本体	11	16
6	操作パネル	11	16
			16
			16
			17
			18
			18
			19
			20
			21
			22

取扱説明書

TP-705CFSA

110332007542
110332007709

1301

01

保証書

ガスふろがま

品名	型式名
TP-705CFSA	GF-A550SC

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

- 記
- 保証期間は、機器をお買い上げの日から1年間とし、本体を対象にします。
 - 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
 - サービス員がお伺いしたときに、保証書をご提示ください。
 - 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
 - 住居用途以外でご使用になる場合の不具合
 - 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
 - 機器を調整、改造された場合の不具合(但し、当社割合の場合はのぞきます)
 - お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
 - 建築主体の高形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う腐食等により生じる外觀上の現象
 - 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
 - 水、油、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - 火災や落石、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天災地災または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
 - 給水の供給トラブル等に起因する不具合
 - (10)指定銘柄以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことによる不具合
 - (11)給水配管などの積り等異物流入に起因する不具合
 - (12)温泉水、井戸水等を給水したことによる不具合
 - (13)本保証書を紛失された場合
 - 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

保証履行者：東京ガス株式会社 〒105-8527 東京都港区海岸1丁目5番20号
保証責任者：高木産業株式会社 〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

■お買い上げおよび販売店

お買い上げ日	年	月	日
販売店	扱		
住所	者		
電話番号	印		

■修理記録
この機器の修理記録は、機器本体のフロントカバー裏に記録します。

- お客様へ
- この保証書をお受け取りになるときに、販売年月日、販売店、取扱者が記入してあることを確認してください。
 - 本保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
 - 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
 - この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

38P009

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書の表示について
この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX) 参照ページを示しています。

■絵表示について

- 一般的な禁止
- 火気禁止
- 接触禁止
- 分解禁止
- 必ず行う

■機器本体の表示について

使用上の注意

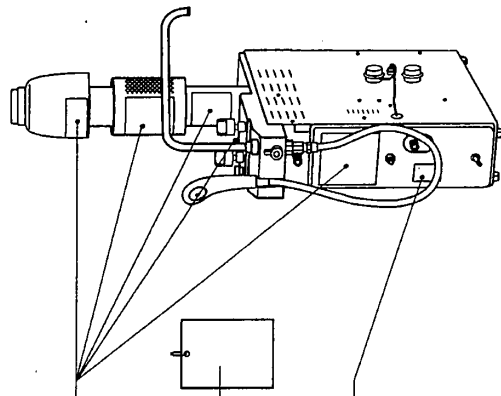
- 使用上の注意、取扱い方法について表示しています。

安全にご使用いただくために(別添シート)

- 品名、使用カスの種類、製造年月、製造事業者等を表示しています。
- 使用上の注意や一部のアラーム表示について説明をしています。
- 取扱説明書と同梱されていますので、浴室内でご使用ください。

銘板

- 品名、使用カスの種類、製造年月、製造事業者等を表示しています。



1 ご注意ください

- 取扱説明書と同梱されているシート「安全にご使用いただくために」は、ふろがま本体や排気筒などに取り付けられないでください。

必ずお守りください

危険

ガス漏れに気づいたときは

- ① すぐ使用をやめて、ガスを閉じる。また、メーターのガス弁も閉じる。
- ② 窓や戸を開けガスを外に出す。
- ③ お買い上げの販売店または最寄りの東京ガスに連絡する。

すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入、切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止

警告

屋外に設置しない(浴室内設置形)

- 風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の浸入や炎が風にあおられて故障の原因になります。

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで排気筒トップを屋内状態にしない

- 設置後、排気筒トップを波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の前方に物を置かず洗濯物をおかない

- 不完全燃焼や火災のおそれがあります。

浴室の排水口のお手入れ

- 浴室の排水口は定期的に掃除する。排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、点火の際に炎があふれ火災や機器が損傷するおそれがあります。



掃除をする

取扱説明書

TP-705CFSA

110332007542
110332007709

1302

01

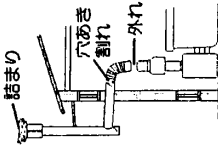
お使いいただく前に

換気注意

- 機器の使用の際は台所や脱衣室などの換気扇を使用しない。一酸化炭素中毒の原因になります。
- 給気口・換気口は常に確保し、物などで塞がない。不完全燃焼の原因となります。

排気筒トップの定期点検

- 排気筒(トップ)が外れたり、変形、破損・詰まりなどがないか定期点検を行う。
- 異常なまま使用すると、排気ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因となり危険です。



禁止

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は一酸化炭素中毒などの事故や火災、故障の原因となります。



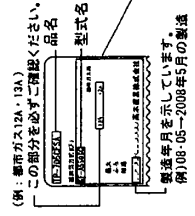
分解禁止

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)で機器を使用してください。ガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火ややけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転売時の注意は(→P. 21)



ガス種を確認



(例: 標準ガス22A・13A)
この部分必ずご確認ください。
品名
型式名
製造年月を示しています。
例108-05-2008年5月の製造

2

必ずお守りください

警告

- シャワー・給湯使用時、入浴時の注意
 - シャワーなどお湯を使う場合は、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。
 - 次のような場合は一瞬熱いお湯が出るので、出始めのお湯は体にかけない。
 - ・お湯を再使用するとき、高温のお湯を使った直後
 - ・お湯の量を急に少なくしたとき
 - ・夏期など水温の高い時期に少量のお湯をおおうとき
 - 給水圧が下がったとき、長時間の追いだき直後
 - 機器が故障したとき
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
- シャワーホースが折れ曲がるなど、シャワーを使用しない。
- 給湯使用時は上り湯パイプに触らない。
- 特に小さなお子様一人では、お湯を使わない。
- お風呂を沸かした後は上下に温度差があるので、よくかき混ぜて、手でお湯の温度を確認してから入浴する。
- お風呂清かし（清かし直し）や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。

思わぬ事故や、やけどのおそれがあります



追いつきの消し忘れをしない

- お風呂を沸かしすぎた場合は、蒸気によりやけどのおそれがあります。浴室に入るときや浴槽のふたを開けるときは十分注意する。また、浴槽のお湯が熱い間は絶対に手や体を入れない。やけどのおそれがあります。

お子様には十分な注意を

- 浴槽の湯（水）に溜ったり、浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様がいるご家庭では注意してください。
- 浴槽のふたの上に乗ったり、手をのびたりしない。思わぬ事故につながる可能性があります。



機器本体やガス接続部などに乗らない

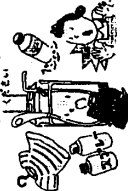
- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しおよび付帯工事の際は、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。

火災予防のために必ず守ること

- 火をつけたままの就寝や外出は絶対にしない。火災の原因となります。
- 排気口の周辺には紙や木材・流し物など燃やしやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ペンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上に入アレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶、ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



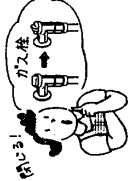
異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
- 使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合
 - ①ただちに使用をやめて、ガス栓を閉じる。
 - ②「故障かな?」と思ったら（→P. 18～20）に従って処置をする。

上記の処置しても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ連絡する。



取扱制ら



必ずお守りください

警告

- つまみはマークに合わせて使用する
- 点火つまみやシャワー、上り湯切替つまみはマークの位置に合わせて使用する。マーク以外の位置で使用すると、熱いお湯が出たり異常な火により機器が変形し、排気が漏れる場合があります。変形した場合はすぐに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると一酸化炭素中毒の原因となります。

注意

- 用途についての注意
 - 一般家庭での上り湯・シャワー等の給湯やお風呂清かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。

ソーラー接続禁止

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

機器本体の高温部に触れない

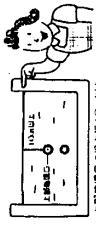
- 使用中または使用後しばらくは、排気口とその周辺部を触ったり、機器と浴槽（または壁）との間に絶対手を差し込まない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

空だき防止

- 追いつき（お風呂沸かし）の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10cm以上湯（水）が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷、火災の原因となる場合があります。



お願い

- 凍結についての注意
 - 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」（→P. 12）に従って処置してください。
 - 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
 - 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
 - 凍結したときは解凍するまで待ち、機器および配管から水漏れがないことを確認後、「機器の準備」（→P. 7）の操作を行ってください。

出湯の注意

- 上り湯パイプにホースを接続して他所へ給湯しないでください。設定温度が出なくて、やけどや水漏れの原因となります。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを点火確認ランプで確認してください。
- 使用後、または就寝や外出するときは、必ずガス栓を閉じてください。

お使いいただく前に

特設ガス消費量の測定と燃費の表示	
燃費表示の単位	TEL
燃費表示の場所	
燃費表示の時間	
燃費表示の回数	
燃費表示の日	
燃費表示の月	
燃費表示の年	

- 消火時の注意
 - 燃焼中に、ガス栓を操作しての消火はしないでください。また、乾電池を抜いての消火もおやめください。

特設法対象機器

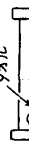
- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 市販の補助用具について
 - 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
 - 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

必ずお守りください

お願い

- 入浴時の注意**
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりお風呂湯がしびれなくなったり、機器の故障原因になります。



- 禁止**
- 湯止めキャップを外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。

機器に水をかけない

- 機器にむやみやみに水をかけないでください。故障の原因になります。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水や断水復帰後の水は、飲用には使用せず、雑用水としてお使いください。

長期使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P. 13)に従って、水を抜く行ってください。
- 水が寒い間流れないと、一瞬溜ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。
- 電池ケースから乾電池を抜いてください。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P. 15)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- 浴槽が水中の重量の約1/3と脂肪分(湯あか)により、重く着くことがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをすることにも、万が一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。

地下水や井戸水、温泉水の注意

- この機器は上水用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ洗剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し機器への悪影響がないものをご使用ください。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・洗濯排水、消臭剤などは塩素などが機器本体やガス管にかかった場合は、すぐに水洗いをしてください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を生じたり、ふろ配管内にたまって動作不良を起すものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で汚濁を起し異音を生ずることがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などが機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止

- 乾電池に関わる注意
- 乾電池の入れ方を間違えたり、新しいものと古いもの、また、違う種類のものを混ぜて使用したりしないでください。寿命が短くなったり、液漏れすることがあります。

用途についての注意

- 本製品は家庭用です。業務用にお使いになると著しく寿命が短くなる場合があります。

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音など)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)

排気ガス

- 増設時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気筒トップの周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの(植物、ペットなど)を置かないでください。

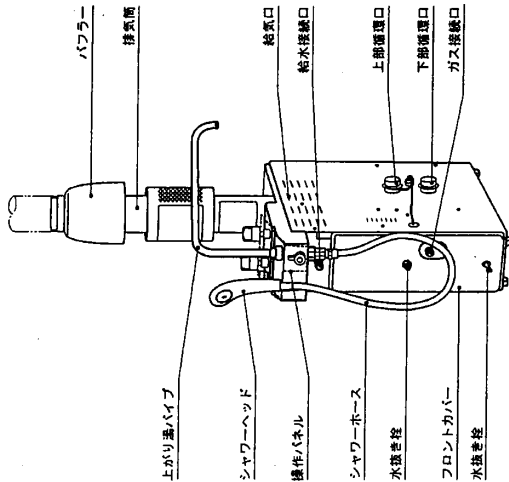
給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

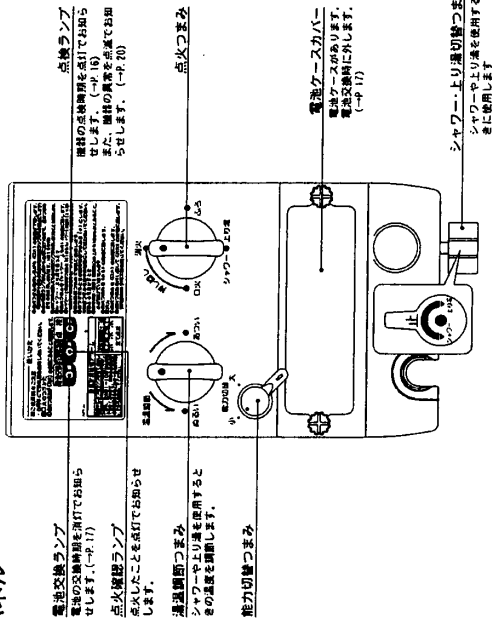
各部の名称と大きさ

機器本体

この機器には右がタイプと左がタイプがあり、下図は右がタイプです。左がタイプは、循環口が下図とは逆の、向かって左側にあります。



操作パネル



お使いいただく前に

ご利用前の準備

機 器	操 作	説 明
1	機器や機器周辺周辺の点検・確認を行います	点検のポイント(→P.15)をご覧ください。
2	シャワー・上り湯切替つまみを止の位置に合わせます	機器の前面にあります。
3	給水元栓を全開にします	機器の周辺にあります。
4	シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側に回し、上がり湯パイプから水の出ることを確認します	水が出ることを確認したら、止めます。
5	点火つまみが消火の位置にあることを確認してガス栓を開けます	点火つまみが消火の位置にあることを確認します。

上がり湯やシャワーを使用する際は

お湯を使用するときは、毎回以下のことを確認してください。

- シャワー・上り湯切替つまみが止の位置にあることを確認。
- 点火つまみが消火の位置にあることを確認。
- 脱衣室や台所の換気扇が「切」になっていることを確認。
※換気扇の使用はあふれワームス(作動) (→P.20)の原因となります。

■口火を点火する

操 作	説 明	
1	点火つまみを押しながら口火の位置まで回します	“カチン”と音がするまで押し回します。 ※電池容量が十分ある場合は電池交換ランプが約5秒間点灯します。
2	点火確認ランプが点滅から点灯に変わるまで、点火つまみを約15秒間そのまま押し続けます	点火確認ランプが点滅から点灯に変わります。
3	点火つまみを離しても、点火確認ランプが点灯し続けていることを確認します	消えてしまう場合は5分後に1の操作からやり直します。

△注意 ●上がり湯やシャワーを使うときは、浴槽の下部循環口より上に湯(水)を入れた状態で使う。機器が破損する原因となります。

- 点火操作行っても点火しないとき、また途中で消火したときは使用をやめ、5分後に再度点火操作を行う。点火操作を何回も繰り返すと機器内に放出したガスに異常な着火火をして大変危険です。それでも点火しないときは、使用をやめてお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ点検を依頼してください。
- 初めてお使いになるときや長時間使用していなかった場合などは、配管内に空気がたまっていることがあり、口火が点火しづらい場合があります。

使いかた

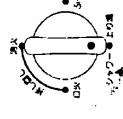
上がり湯やシャワーを使用するには

1 上がり湯やシャワーでお湯を使用する

1 点火確認ランプが消えていないことを確認します



2 点火つまみをシャワー・上りの湯の位置まで回します



3 シャワー・上り湯切替つまみを、上り湯側がシャワー側へ回します

【シャワーを使う】

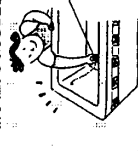
シャワー・上り湯切替つまみを、シャワー側へ回します
シャワーヘッドからお湯が出ます



【上がり湯を使う・浴槽へお湯をためる】
シャワー・上り湯切替つまみを、上り湯側へ回します
上り湯パイプからお湯が出ます



※浴槽へお湯をためる場合は、浴槽の排水栓を閉めておくことを確認します。



長時間の追いだき直後は、シャワーから熱いお湯(80℃以上)が出るのを防ぐため、自動的にお湯が止まる場合があります。以下の方法で再使用できます

1 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯の位置へ回し、上がり湯パイプからお湯を出します。このとき湯温調節つまみをぬるい位置に合わせ、ぬるいお湯になるまで熱いお湯を流し出します。

△注意 ●熱いお湯が出るため、体にかからないよう注意する。やけどのおそれがあります。

2 お湯がぬるくなったことを確認して、シャワー・上り湯切替つまみをシャワーの位置へ回します。湯温調節つまみでシャワー温度をお好みの温度に調節してください。

④留意 ●通常のシャワー使用において、頻繁にシャワーをお湯が止まるときは機器の故障の場合がありますので、使用をやめて点検を依頼してください。

△警告 ●上がり湯・シャワーを使うときは、必ず手でお湯の温度を確認してから使用する。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

●浴槽にお湯張りしているときは、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。

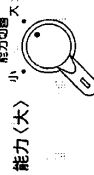
上がり湯やシャワーを使用するには

4 お湯の温度を湯温調節つまみを回して調節します



左に回すとお湯がぬるくなります。
右に回すとお湯があつくなります。

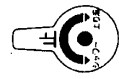
湯温調節つまみで調節しても適温にならない場合は、夏期水温が高いときや水圧が低い地域では、湯温調節つまみをぬるいにしてもお湯が熱い場合があります。このようときは能力切替つまみで湯温を調節します。



通常はこの位置で使用してください。

△注意 ●能力切替つまみは大または小にきちんと合わせて使用する。途中の位置で使用しないでください。
湯温調節つまみをぬるいにしても、熱すぎるときは使用してください。

5 お湯を止めるときはシャワー・上り湯切替つまみを止の位置に合わせてシャワーバーナーが消火します



6 すぐに使用しないときはシャワー・点火つまみを口火の位置まで回し、口火から押しながら消火の位置まで戻します



口火を消すことでガスの無駄が少なくなります。

△警告 ●お湯を使用している本人以外はお湯の温度を変えない。また、体にお湯を浴びたままお湯の温度を変えない。お湯の温度を変えたときは必ず手でお湯の温度を確認してから使用する。
●お湯を一度止めて再使用るときは、一瞬熱いお湯が出るので注意する。
●長時間の追いだき直後は、浴槽の排水栓を閉めておくことを確認する。
●使用後、または就寝や外出するときは、必ず点火つまみを消火の位置に戻す。怠ると火災の原因となります。

①ご注意ください

●夏期など水温が高くなると、低い温度に設定しても、熱い湯が出る場合があります。




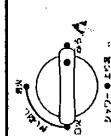
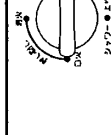
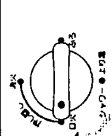
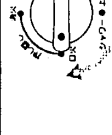
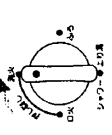
●電油交換・点火確認ランプが同時に点滅し機器が自動消火するのは、あふれサーミスタが作動したためで、機器の故障ではありません。(P. 20)

追い抜き(おふる沸かし)をするには

追い抜き(おふる沸かし)をするときは、毎回以下のことを確認してください。

- 上部循環口より10cm以上お湯(水)が入っていることを確認。
- 脱衣室や台所の換気扇が「切り」になっていることを確認。
- 換気扇の使用はあふれミスタ作動(→P.20)の原因となります。

■ 追い抜き(おふる沸かし)をする 浴槽にお湯張りをしたあと湯温がぬるい場合は追いで水を流してください。

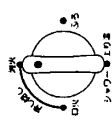
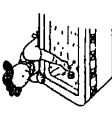
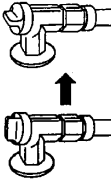
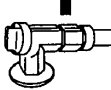


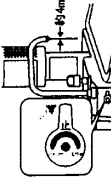

準備	操作	説明
<p>1 点火つまみが口火の位置にあり点火確認ランプが消えていることを確認します</p> 	<p>上部循環口より10cm以上お湯(水)が入っていることを確認します。入浴前に沸かす場合は、浴槽のふたがしがあっても確認します。</p> 	<p>口火が点火していない場合は口火を点火する(→P.8)の操作を行ってください。</p> 
<p>2 点火つまみをふろの位置に合わせます</p> 	<p>点火つまみをふろの位置に合わせます</p> 	
<p>3 おふるが沸き上がったから点火つまみを口火の位置に戻します</p> <p>使用後・就寝・外出のときには点火つまみを消火の位置に戻し、ガス栓を閉めます</p>  	<p>おふるが沸き上がったから点火つまみを口火の位置に戻します</p> 	<p>警告 ● おふるを沸かしているときは、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。</p> <p>● 入浴時には十分かき混ぜて、必ず手で湯温を確認してから入浴する。追い抜き中や追い抜き後は、浴槽の湯の上部は熱くなっているため、やけどのおそれがあります。</p> <p>● 使用後、または就寝や外出するときは、必ず点火つまみを消火の位置に戻す。燃える火災の原因となります。</p> <p>注意 ● 追い抜き(おふる沸かし)の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10cm以上お湯(水)が入っていることを確認かめ。水位が低いと、空だきによる機器の故障、火災などのおそれがあります。</p> <p>● おふる沸かしは水から沸かすより、お湯張りをしてから追い抜きを行なった方が、時間がからず経済的です。</p> <p>● 電池交換・点火確認・点検のランプが同時に点滅し機器が自動消火するのは、あふれミスタが作動したため、機器の故障ではありません。(→P.20)</p>

冬期の凍結予防をするには

注意

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
 - 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 冬期には機器や配管内の水が凍結して、機器が破損することがあります。凍結のおそれがあるときや長期使用しないときは以下のいずれかの方法で凍結を予防してください。

■ 通水による方法 この方法は本体だけでなく、給水配管、バルブ類の凍結も予防できます。

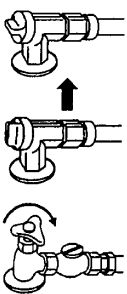


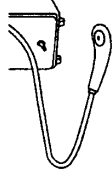
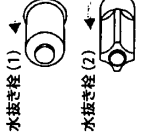
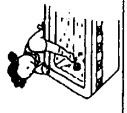
準備	操作	説明
<p>1 点火つまみが消火の位置にあることを確認します</p> 	<p>浴槽の排水栓を抜き、浴槽内の湯(水)を完全に排水します</p> 	<p>● ご注意ください</p> <p>● 浴槽内に湯(水)が残っていると凍結することがあります。</p>
<p>2 ガス栓を閉じます</p> 	<p>点火つまみが消火の位置にあることを確認します</p> 	<p>必ず確認します。</p>
<p>3 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回します</p> 	<p>シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回します</p> 	
<p>4 上がり湯パイプから1分間に約40℃程度の水を浴槽に流し続けます</p> <p>流量は給水元栓で調節します</p> 	<p>上がり湯パイプから1分間に約40℃程度の水を浴槽に流し続けます</p> 	<p>流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。</p>

● 通水による方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防の為に水を流していることを、お知らせください。水を止めると凍結します。

冬期の凍結を予防するには

● 機器の水を抜く方法 長期使用しないときは機器の水を抜く方法で凍結を予防してください。図は右がタイプで説明します。




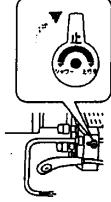
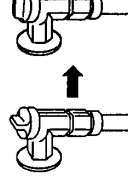
△ 注意 ● 使用後すぐに水抜きをしない、機器やお湯が高温になっていることがありますが、やけどのおそれがあります。冷えてから行ってください。

操 作	説 明
<p>1 ガス栓・給水元栓を閉じます</p>  <p>必ず閉じます。</p>	
<p>2 湯温調節つまみをぬるい位置に合わせます</p> 	
<p>3 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回します</p> 	
<p>4 シャワーヘッドを床においてシャワーホース内の水を抜きます</p> 	
<p>5 水抜き栓(1)(2)を外し、水が出ることを確認します</p> 	
<p>6 浴槽の排水栓を抜き、浴槽内の湯(水)を完全に排水します</p> 	<p>再び使用するまで、そのままにしておきます。</p>

● 次回に使用されるまでそのままにしておいてください。
 ● 機器内の凍結は予防できても給水配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

冬期の凍結予防するには

● 再使用するとき

操 作	説 明
<p>1 すべての水抜き栓を閉じます</p> 	<p>確実に閉じていることを確認します。</p>
<p>2 シャワー・上り湯切替つまみを止へ回します</p> 	
<p>3 給水元栓を開けます</p> 	
<p>4 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回し上り湯パイプから水が出ることを確認します</p> 	<p>水が出ることを確認したら止めます。</p>
<p>5 ガス栓を開けます</p> 	<p>機器を使用できます。</p>

● 再使用するとき、水抜き栓が確実に閉じていることを確認してください。

● 凍結したときは

□ 凍結したときはガス栓・給水元栓を閉じ、使用しないでください。凍結したままで使用すると、機器や配管が破損することがあります。
 □ 点火つまみを消火し、シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回したとき水が出て、止したとき水漏れがなければ使用できます。
 □ 解凍するまで待つ、水漏れのないことを確認のうえご使用ください。

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

安全にお使いいただくために
点検と
お手入れは定期的にしてください。

点検のポイント(月1回程度)

- 1 機器および配管から水漏れはありますか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけるます。
- 2 機器および配管からガス臭気はありますか?
運転中に機器から異常音が聞こえませんか?
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか?
- 4 機器の外観に異常は見られますか?
- 5 機器のまわり、および排気筒トップのそばに燃えやすいものはありませんか?
また、整然と置けていますか?
機器のまわりが雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 排気筒・排気筒トップに積雪や霜まみり、外れているところはありませんか?
- 7 強化ガスホースが腐んでいませんか?
排水口が詰まっていますか?
- 8 浴室の排水口が詰まっていますか?
排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、点火の際に放たれる火花が燃えたり、機器が損傷するおそれがあります。
- 9 積雪や屋根から落ちた雪により、排気筒トップが覆われていますか?
排気筒トップが覆われていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気筒トップを覆うおそれがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- 10 熱交換器やバーナーに錆びやスス・ほこりなどが詰まっていますか?
ふろがまが古くなる熱交換器やバーナーに錆びやススなどが詰まると不完全燃焼を起こす場合があります。ときどき使用中に異常(異常音・排気筒に不体な臭い・目に見えない煙など)がないか確認してください。異常に気づいたときは、使用を中止しガス栓を閉めてお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。

お手入れのしかた(こまめに掃除)

機器外装のお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- ジンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。
- 機器の点火つまみの部分には、できるだけ水・水かからずお掃除してください。

注意

- フロントカバーを外したり、分解したりしない。
- 故障または破損したとき等は使用しない。このときお客様ご自身で修理なさらずに、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- 洗剤およびジンナー・ベンジンなどは拭かないでください。
- 機器にキズがつきまますので、たわしやブラシなど固いものでこすらないでください。
- 機器本体はステンレスですが、錆びることがあります。ヘアピンや金属片を置かないでください。

分解禁止



点検のポイント・お手入れのしかた

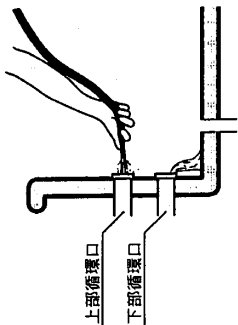
ふろがま内のお手入れ

ふろがま内部に湯あかなどがたまっていくと、沸き上がり時間が長くなったり、沸き上がり前に消火することがあります。こまめにふろがま内部の洗浄を行ってください。

上部循環口の湯止めキャップを外します



2 循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出します



3 上部・下部循環口を交互に数回水洗いします

4 上部循環口の湯止めキャップを元通りに取り付けます



浴室内のお手入れ

- 浴室の排水口をよく掃除して、排水が十分行えるようにし、ふろがまの底部が水につからないようにしてください。
- 浴室に洗濯機等の排水をされる場合は、排水が直接ふろがまにかからないように注意してください。
- 浴室内は湿気が多いため、機器を使用していないときは、浴室の窓などを開け換気をよくしてください。

定期点検のおすすめ(有料)

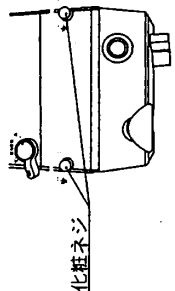
- 機器を安心して長くご利用いただくために、1年に1回程度の点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- 点検ランプが点灯したときはお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

長くお使いいただくために

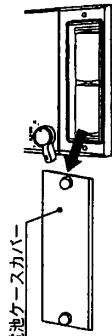
点検のポイント・お手入れのしかた

●乾電池の交換のしかた
電池交換ランプが点滅したり、全く点灯しない場合は、電池の寿命が考えられます。以下の要領で、乾電池の交換を行ってください。

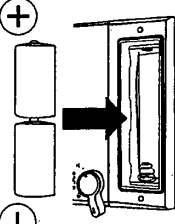
- 1** 化粧ネジをゆるめます

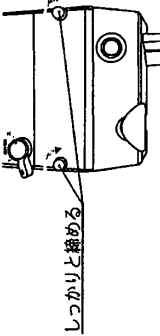


化粧ネジ
- 2** 電池ケースカバーを外します
カバーを外すときは、能力切替つまみを気をつけて外してください



電池ケースカバー
- 3** 2個とも新しい単一形(1.5V)アルカリ乾電池に交換します
2個とも同じ種類のアルカリ乾電池を使用し、**+**と**-**を間違えずに入ってください


- 4** 乾電池交換後、電池ケースカバーを取り付け、化粧ネジをしっかりと締めます



しっかりと締める

注意
化粧ネジをしっかりと締めないで機器内に水が浸入して、機器の故障の原因になります。
化粧ネジは確実に締めてください。

注意 ●乾電池は破裂・液漏れを起こすことがあります。下記の点に注意してお取扱ってください。
・2個とも同じ種類の新しいアルカリ乾電池を使用してください。
・使用済みの乾電池は、分解・加熱・火の中に投げ込まないでください。
・長期不在や等価機器を使用しない場合は、乾電池を機器から抜いてください。
●乾電池の寿命は通常で約1年くらいを目安としてください。付属の乾電池は工場出荷時のものですので、多少早めに交換が必要な場合があります。

故障かな?と思ったら

■ 次のことを調べてみましょう

こんなとき	ここを調べてください
口火が点火しない 使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか 口火が点火しない場合、点火つまみを十分下まで押し回していますか 電池が切れていませんか ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)のランプが点灯していませんか マイコンメーターを復帰させてください。 わからないときは、最寄りの東京ガスへご相談ください。
点火つまみから手を離すと 消火する	電池が切れていませんか "カチン"と音がしてから15秒程度押し続けていますか 点火つまみを十分下まで押し回していますか
上がり湯(パイプシャワーヘッド) ドからお湯が出ない (給湯側バーナーに着火しない)	ガス栓が全開になっていますか 点火つまみをシャワー●より下まで回していますか 給水元栓が全開になっていますか
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか 湯温調節つまみの設定は適切ですか 能力切替つまみの設定は適切ですか
お風呂が沸かない (お風呂側バーナーに着火しない)	ガス栓が全開になっていますか 点火つまみを十分下まで回していますか
かまゆりがする (ボコン・ボコンと音がして、循環口より大きな気泡が出る)	ふろが完全に傾いていませんか ふろが元の循環パイプと浴槽側の循環口がずれていませんか お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■ こんな場合は故障ではありません

現象

点検項目

夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いとき低温のお湯を少量湯得ようとすると、湯温が高くなります。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い全く無害なものです。
点火または消火後機器から水コンと言がする	機器の側板・天板などが熱によって膨張・収縮するとおこる音です。
おふろを満かしているとき、機器よりジュ・ジュと言がする	浴槽の水が冷たい場合、機器内の結露水が熱板に落下して蒸発するときの音で機器の故障・異常ではありません。
寒い日に排気筒トップから湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白く見える現象で、故障ではありません。
長期間使用してはなかつた後、口火になかなか点火しない	長期間使用しなかつたために強化ガスホース内に空気が入り込んでいるためです。点火操作を繰り返し返してください。それでも点火しないときは、曇りの東京ガスへ依頼してください。
浴槽が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。
シャワーが口火燃焼しているときやふろ沸かし中に、上がり湯ハイブ・シャワーヘッドから水が出ることもある	機器内部の膨張した水が出るためで、水漏れではありません。
シャワーのお湯が止まる	長時間追いだき直後は、シャワーから熱いお湯(80℃以上)が出るのを防ぐため、出湯を自動的に停止することがあります。(→P.9)

以上のことを調べたうえで、なお異常のあるときはお買い上げの販売店または曇りの東京ガスへご連絡ください。

故障かな?と思ったら

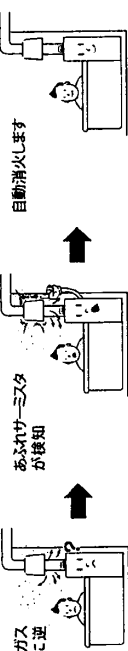
■アラームについて

この機器にはアラームモニター(自己診断)機能が付いています。機器の不具合が生じると電池交換・点火確認・点検ランプのお知らせです。下記のアラーム表をご覧になり、適切な処置を行ってください。修理の依頼およびアラームについてご不明の場合はお買い上げの販売店、または曇りの東京ガスへご連絡ください。

(アラーム表)

アラームの種類	状態	内容	処置
電池交換点検ランプ	点滅		
1回点滅	着火ミス	点火つまみを消火の位置に戻し、5分後再点火	
連続3回点滅	失火	点火つまみを消火の位置に戻し、浴室の給気口・換気口が塞がれていないことを確認し、10分以上の換気後、再点火	
連続4回点滅	給湯熱交サーミスタ作動	給湯熱交サーミスタ作動	
連続5回点滅	給換気口閉塞検知	給換気口閉塞検知	
連続6回点滅	あふれサーミスタ断線・短絡	あふれサーミスタ断線・短絡	
連続7回点滅	給湯熱交サーミスタ断線・短絡	給湯熱交サーミスタ断線・短絡	
連続8回点滅	ふろ熱交サーミスタ断線・短絡	ふろ熱交サーミスタ断線・短絡	
連続9回点滅	サーモカップル回路異常	サーモカップル回路異常	
連続10回点滅	EEPROM異常	EEPROM異常	
点滅	製品点検	製品点検	点検を依頼する
口火点火時に点灯しない	電池切れ	電池交換	早めに電池を交換する
全点滅	電池が入っていない	電池入れ	新しい電池に交換する
全点滅	あふれサーミスタ作動	あふれサーミスタ作動	点火つまみを消火の位置に戻し、10分以上の換気後、再点火
全点滅	インターロック	インターロック	ランプが点滅している間は、機器の使用はできません 修理を依頼する

あふれサーミスタ(排気逆流検知装置) 浴室内への燃焼排気ガスの逆流を検知する装置です。



あふれサーミスタ作動について
あふれサーミスタが作動すると、機器は自動消火し、アラームを表示(電池交換・点火確認・点検ランプが同時に点滅)します。機器の故障ではありません。このアラームが発生した場合は、窓などを開け、浴室内の換気を十分に行ってください。機器の使用中は、脱衣室や台所の換気扇を使用すると、排気逆流の原因となりますので、必ず「切」にしてください。また、換気扇を使用していない場合でも度々アラームが発生する場合には、排気筒の不備が考えられますので、お買い上げの販売店、または曇りの東京ガスへご連絡ください。

再使用禁止装置(インターロック)
安全装置が作動しても原因を解決しないまま繰り返し使用すると作動します。インターロックが作動すると、機器を使用することができません。
△警告 ●窓などを開け、浴室内の換気を十分に行い、ガスを閉じてお買い上げの販売店、または曇りの東京ガスへご連絡ください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 故障がなれたと思ったら、「(→P. 18~20)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいは不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・順順(付近の目印等)
 - (2) 品名(例) TP-705CFSA (ガス)の型番(例えば13A)
 - (3) お買い上げ日(保証書をご覧ください)
 - (4) 現象(故障または異常内容など)できるだけ詳しく
 - (5) 訪問ご希望日

出張対応

- ◆月～土曜日の修理は9:00～19:00まで電話受付
月～土曜日は朝の9時から夜の間まで、機種の修理、オーバードライブのお申し込みを承ります。
- ◆日曜・祝日の修理は9:00～17:00まで電話受付
日曜・祝日は朝の9時から夕方3時まで、機種の修理、オーバードライブのお申し込みを承ります。

出張対応

- ◆月～土曜日の17:00までの受付は、当日中にご訪問
- ◆月～土曜日の17:00の受付は、翌日にご訪問
翌々日出張の希望日にはご訪問することも可能です。
なお、緊急時の場合は、ご相談ください。
- ◆日曜・祝日の15:00までの受付は、当日中にご訪問
- ◆日曜・祝日の15:00以降の受付は、翌日にご訪問

万が一、ガス機器に故障が生じた場合等、修理に関するご質問でも、別紙「お問い合わせ先一覧表」をご覧ください。ご利用ください。

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお済めになり、保証書に記載されている保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されます。無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後7年です。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増設などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの悪臭や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ばず、ご配慮ください。
- 転居・移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓・給水元栓を閉じます。
 - (2) 乾電池を取り外します。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P. 13)

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

仕様

【仕様表】

項目	内容
品名	TP-705CFSA
型式	GF-A550SC
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅175×奥行655×高さ1248/17
点火方式	圧電点火
水圧	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²)
最低動作水圧	50kPa(0.5kgf/cm ²)
給水	15A(R1/2)U接続
給水パイプ	15A(R1/2)オネジ
電源	φ45mm(外径):GL180mm-100mmピッチ DC3V(単一形アルカリ乾電池×2)
本体外形	ステンレス鋼板 溶融亜鉛メッキ鋼板(粉体焼付塗装)
排気部	溶融亜鉛メッキ鋼板(耐熱塗装)
熱交換器	給湯・脱酸銅 ふろ:ステンレス鋼板
パネル	ステンレス鋼板
安全装置	空だき安全装置 立消え安全装置 排気逆流検知装置 熱交閉塞検知装置 過熱防止装置 過圧防止安全装置 熱湯遮断弁 給換気口閉塞検知装置

【能力表】

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW		出湯能力(最大時) 分		沸き上がり時間(浴槽水量:180ℓ) 分		ガス接続
	給湯	ふろ	水温+35℃ 上昇	水温+40℃ 上昇	春・秋 (15→40℃)	夏 (25→40℃)	
13A	12.8	10.5	5.5	3.4	43	26	60
12A	12.1	9.77	5.1	3.2	46	28	64

- ◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
- ◎出湯能力は、水圧100kPa(1.0kgf/cm²)のとき。
- ◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

取扱説明書

TP-705CFSA

110332007542
110332007709

1312 01

長くお使いいただくために